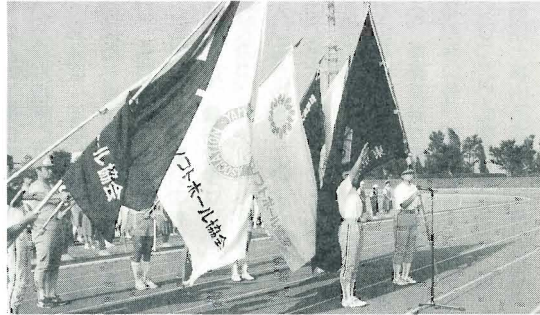


秋川団体特集号

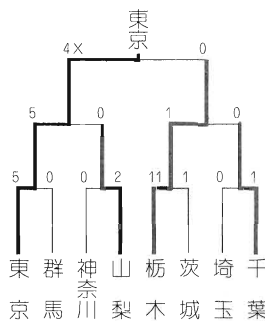
少年女子 成年男子II部 福岡国体へ



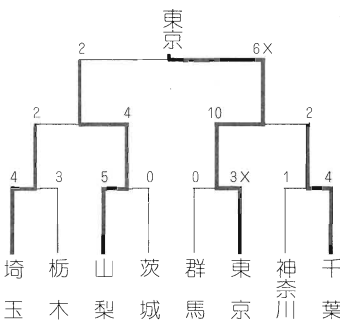
第45回国民体育大会関東地区大会は、去る8月24日、開会の幕が切つて落とされ、25日から関東一都七県による各部門での熱戦が繰り広げられました。

我が東京都は、日体桜華・淑徳を中心とし、校成女子・東京立正を加えチーム作りをした相馬監督率いる少年女子が、福岡国体への第一代表権を獲得し、また、昨年度の経験をふまえ、選手選考等、チーム作りを入念に行なつた東浦監督率いる成年男子II部も本国体へ都代表として駒を進めました。

少年女子の部



成年男子II部の部



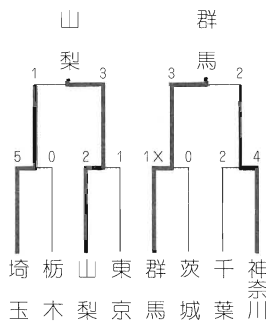
他の3部門

成年男子I部は、関東地区3チーム選出をめぐつての戦いであった。最も期待されていた地元東京都は、敗者復活も含め、最少得点差1点で敗れ去り、

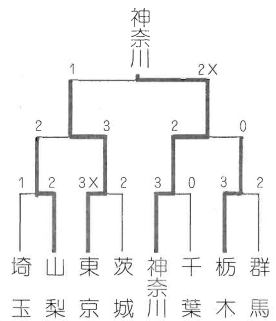
成年女子は、第一代表決定戦で敗れ、敗者復活では日立高崎・太陽誘電を擁した群馬県を相手によく戦つたが、詰めの甘さが目立ち一点差で涙をのんだ。

少年男子は、敗者復活の二回戦で力尽きてしまった。

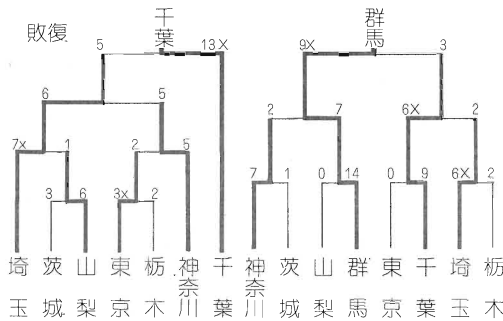
成年男子I部の部



成年女子の部



少年男子の部



関東各都県の代表数は次の通りです。

群馬県3（成年男子Ⅰ・成年女子・少年男子）

東京都2（成年男子Ⅱ・少年女子）

神奈川県2（成年男子Ⅰ・成年女子）

千葉県1（少年男子）

埼玉県1（少年女子）

山梨県1（成年男子Ⅰ）となり、10月20日からの福岡国体で頂点を目指します。



代表者会議(市民体育館)

それにしても昨年の東京都は、足利大会で3つの代表権を獲得し、少々で過ぎとも思えた。が、今年の大会では2部門の代表を本國体に送れ、一つ減じたとは言え決して恥じるごこない立派な戦いぶりであったと思う。本國体での活躍に期待したい。

また、国体の団体競技は混成チームづくりが特徴で、しかもチームづくりの難しさは、どの県チームも同様であろう。「コンビをつくるんだね。二・遊間、三・遊間」、守れにやー勝てんよ。練習試合は連日してたけど、敗けが多かった」とは、昨年に引き続き今年も少年女子を送り出す桐馬監督の話でした。

関東国体を終わって

今大会期間中、本部に、来年の開催地埼玉県の吉見町教育委員会の方々が視察に来られた。

思えば一年前、同じように東京の役員も栃木県足利大会に足を運び、東京都の大会を成功させようと応援がたら、暑い中を視察してまわった。鎌田会長はじめ、役員五人の中には秋川市の役員は誰一人いなかった。このような事情の中で今大会は始まったのである。

他県の選手に行き届かなかつた事が少なからずあつた事は事実である。準備期間が短く、役員全体会議がない等、細かい所では行き当りばつたりの感があつたが、東ソ協例と秋川市連盟・行政の方々の協力で成功した大会だつたと思う。東ソ協例は、3月の高校選抜、7月の全日一般関東地区予選会、そして下奥理事長休養等、忙し過ぎた感があり、今大会を軽視したのでは決してないと思う。

今大会成功の影には何よりも地元秋川市連盟・行政・教育委員会・体協の方々が身を投げ出して本大会を成功させようと一致団結し活動したからにはほかならない。ただただ頭の下がる思いであつた。

地元の役員の方々が「私たちはソフトボールを通じて仲良くやつてきた感があり、今大会を軽視したのでは決してないと思う。」



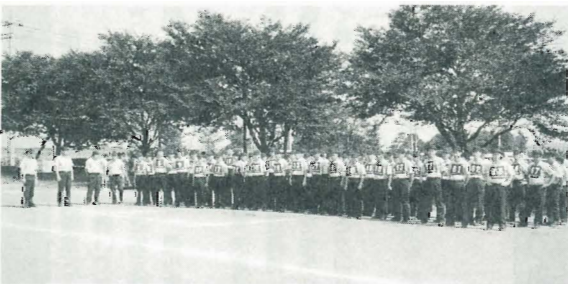
影の力となった地元役員の皆さん

きました。本大会の準備段階では、いざみあつたり、多少ケンカ腰になつたことも何度かありましたよ。知らないこともたくさんあつて、いい勉強になつたし、いい経験になりましたよ」と話してくれました。

また、あのアンツーカーのレンガ色の陸上競技場での、華やかで簡素重厚な開会式の終了後、秋川

市役員の人達が、「これで大会も半分は終わったよ」と握手をしている姿は印象的でした。そして何よりも驚いたことは、開会式から競技終了まで影で動いていた地元役員の数々の多かつた事である。この方々の努力があつたからこそ成功したのでしよう。

そして、小学生、中学生、高校生、大学生の皆さん、開会式でのキラバントの皆さん、そして秋川市の臼井市長さん、連盟会長の橋本さんありがとうございました。今年の夏は天候に恵まれ過ぎて、こつとして4日間の関東国体は終了しました。



秋川国体審判員の実技研修会(中央公園市民広場)

関東国体を前にして審判研修会

7月21日(土)・22日、秋川市にて審判研修会を行なつた。22日は関東都国体代表男子3チームの練習試合を実施しながら実技研修を積んで本番にそなえました。

トピックス

実業団の大徳ドレツサズが、国体強化を兼ね、8月13日〜16日まで、中国上海体育大学との遠征親善試合を2試合行い、大徳2-0上海、上海4-2大徳との結果にて帰国した。東京の審判員も写真の様な姿で今年の夏はやりたかつたろうネー。

